

正副会頭インタビュー

# 2019年を熱く盛り上げる! 新年の抱負

毎年恒例の新春企画として、正副会頭の皆さまに新年の抱負を聞きました。新たな年を迎える意気込みはもちろん、今年のトレンドや企業の経営者として大切にされている考えを知ることができます。

**質問**  
 ①2019年の抱負を一言で表すと? その意味は?  
 ②プライベートでは?  
 ③ズバリ!2019年のキーワードは?



(左から 小島副会頭、河木副会頭、三宅会頭、田端副会頭、今井副会頭)

## 会頭 三宅英臣 豊田鉄工株式会社 相談役

- ①「**備え**」 今秋豊田市において「ラグビーワールドカップ2019」が全国12会場の1つとして開催されます。豊田市の持続的な発展に寄与すべく機運醸成が必要であり、そのために地域一体となった活動が大切ですので、一層のご支援をお願いします。
- ②明るく楽しく元気にをモットーに、地道に 愚直に 徹底的に行動します。
- ③活性化(ラグビーワールドカップ&中心市街地)

## 副会頭 河木照雄 株式会社山田屋 代表取締役

- ①「**エリマネ**」※エリアマネジメント。特定のエリアを単位に、民間が主体となって、まちづくりや地域経営(マネジメント)を積極的に行おうという取り組み。より多くのまちのにぎわいを創出し、確かな経済的効果を作り出すような活動を展開していきたい。また地域商業の発展のため、なすべきことをしっかりとやっていきたい。
- ②健康で元気に頑張ります。
- ③ラグビーワールドカップ2019、キャッシュレス、消費税対策

## 副会頭 田端 総 豊田信用金庫 会長

- ①「**忍耐と努力**」 今年景気の後退も予想されそうです。中小零細企業の皆さまには、生き残りをかけて頑張ってください。期待インフレ率2.0%の達成は難しくそうです。個人消費は低価格志向も強く、その伸びは期待できにくい。また、消費税の引き上げも見込まれています。一方、財政の支出も考えておられますが、将来の負担が心配です。このような経済環境のなか、商工会議所では、経営相談、事業承継、相続等にも関わるとのことでも気軽に相談に来てください。お待ちしております。
- ②健康に気をつけ、仕事に誇りを持って頑張っていきたい。
- ③元気な町に

## 副会頭 小島洋一郎 小島プレス工業株式会社 相談役

- ①「**新基軸**」 今年30年続いた平成を終え新年号になります。その大変革は「消費税率引き上げ」でキャッシュレス、ポイント還元でスタートし、社会、経済の仕組み全て新しくなります。全会員と意識を共有し新たな地域経済の枠組みを作りたいです。
- ②健康第一
- ③法が変われば未来が変わる。消費税率と入管法

## 副会頭 今井眞一郎 株式会社ユーネットランス 代表取締役会長兼社長

- ①「**持続**」 中小企業に寄り添った活動の展開、特に人材不足に対応し働きやすい環境の整備などをめざす企業活動を支援していく。
- ②数多く国内外の旅行に出て、世間を知る。
- ③新しさ



# 年頭所感 2019年を迎えるにあたって

謹んで新年のあいさつを申し上げます。旧年中は、商工会議所の諸事業に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。本年も皆さまにとつて素晴らしい一年でありますよう心より祈念申し上げます。

いよいよ今秋豊田市において「ラグビーワールドカップ2019」が全国12会場の1つとして開催されます。世界三大スポーツイベントとして注目され海外からの観客数は推定46万人と、そのインパクトの大きさは計り知ることができません。その波及効果をより高めるためには地域一体となった機運醸成が必要であり、開催1年前イベントとして青年部による「ギネス世界記録」挑戦!!最大のラグビースタム」達成など多くの市民の皆さまとともに盛り上げ、全国へ発信する事業を展開してまいりました。

大会の成功は、交流人口の拡大、国際化や観光振興、まちづくりなど今後の豊田市のポテンシャルアップに大きく貢献するものであり、本番の年として引き続き積極的な展開を進めてまいります。

さて、近年の我が国経済は設備投資が底堅く推移しており、個人消費も緩やかに回復の傾向がみられたものの、中小・小規模事業者の経営や消費回復まで至っていないのが現状です。

人手不足が深刻化し、人財の確保や生産性向上、働き方改革への対応、また経営者の高齢化が

進む中で、事業承継など、中小企業を取り巻く環境は厳しさを増しています。

当所としても中小・小規模事業者の事業継続と持続的発展に繋がる補助金・助成金の活用など伴走支援をはじめ消費税軽減税率と消費税率引上げに伴う円滑な制度導入支援など、経営力の強化に資する事業を展開してまいりる所存でございます。

また、産業振興の視点においては次世代に向けた構造の変化に対応すべく、ものづくり人財の育成や産業型農業の推進といった展開も進めるほか、ものづくり産業が集積する本市にとって、国内生産の環境維持を目的とした、物流の生産性向上に資する幹線道路整備推進に向けた働きかけ等を今年も継続して行なってまいります。

終わりになりますが、交通事故撲滅は喫緊の課題として、地域と行政、そして我々産業界が一丸となりオール豊田で進めなければなりません。

本年も豊田市の持続的な発展に寄与すべく、地道に愚直に徹底的に取り組んでまいります。暖かいご支援ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

豊田商工会議所  
会頭 三宅英臣